

(5) メロン

病害虫	防除法	参考事項																	
うどんこ病	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 微生物殺菌剤	○ パンチョTF剤、モレスタン水和剤、ポリオキシシンAL水溶剤は幼苗期や定植直後の使用を避ける。 ○ ベルクートフロアブルは、交配2～3日前から交配2週間後までの幼果の時期には、薬害を生じるおそれがあるので使用を避ける。また、若葉への散布や高温時の散布では、薬害を生じることがあるので注意する。 ○ くん煙剤の使用については、 共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用法の項 を参照する。																	
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">薬剤名</th> <th style="width:50%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アグロケア水和剤</td><td></td></tr> <tr><td>インプレッションクリア</td><td></td></tr> <tr><td>クリーンカップ</td><td>銅剤との混合剤</td></tr> <tr><td>タフパール</td><td></td></tr> <tr><td>ボトキラー水和剤</td><td></td></tr> </tbody> </table>		薬剤名	備考	アグロケア水和剤		インプレッションクリア		クリーンカップ	銅剤との混合剤	タフパール		ボトキラー水和剤						
	薬剤名		備考																
	アグロケア水和剤																		
	インプレッションクリア																		
	クリーンカップ		銅剤との混合剤																
	タフパール																		
	ボトキラー水和剤																		
	2 気門封鎖剤		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:100%;">薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アカリタッチ乳剤</td></tr> <tr><td>エコビタ液剤</td></tr> <tr><td>サフオイル乳剤</td></tr> <tr><td>サンクリスタル乳剤</td></tr> <tr><td>フーモン</td></tr> <tr><td>ムシラップ</td></tr> <tr><td>粘着くん液剤</td></tr> </tbody> </table>	薬剤名	アカリタッチ乳剤	エコビタ液剤	サフオイル乳剤	サンクリスタル乳剤	フーモン	ムシラップ	粘着くん液剤								
	薬剤名																		
	アカリタッチ乳剤																		
	エコビタ液剤																		
	サフオイル乳剤																		
	サンクリスタル乳剤																		
	フーモン																		
	ムシラップ																		
	粘着くん液剤																		
	3 くん煙剤・常温煙霧剤		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:100%;">薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>トリフミンジェット</td></tr> <tr><td>硫黄粒剤</td></tr> <tr><td>パンチョTFジェット</td></tr> <tr><td>モレスタン水和剤</td></tr> </tbody> </table>	薬剤名	トリフミンジェット	硫黄粒剤	パンチョTFジェット	モレスタン水和剤											
	薬剤名																		
	トリフミンジェット																		
	硫黄粒剤																		
	パンチョTFジェット																		
	モレスタン水和剤																		
	4 下記薬剤のいずれかを発病初期から7～10日おきに病勢に応じて散布する。		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:100%;">薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アフエットフロアブル</td></tr> <tr><td>イオウフロアブル</td></tr> <tr><td>硫黄粉剤50</td></tr> <tr><td>サンヨール</td></tr> <tr><td>ショウチノスケフロアブル</td></tr> <tr><td>ダコニール1000</td></tr> <tr><td>ハーモメイト水溶剤</td></tr> <tr><td>バレード20フロアブル</td></tr> <tr><td>パンチョTF顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>パンチョTFジェット</td></tr> <tr><td>フルピカフロアブル</td></tr> <tr><td>プロパティフロアブル</td></tr> <tr><td>ベルクートフロアブル</td></tr> <tr><td>ポリオキシシンAL水溶剤</td></tr> <tr><td>モレスタン水和剤</td></tr> </tbody> </table>	薬剤名	アフエットフロアブル	イオウフロアブル	硫黄粉剤50	サンヨール	ショウチノスケフロアブル	ダコニール1000	ハーモメイト水溶剤	バレード20フロアブル	パンチョTF顆粒水和剤	パンチョTFジェット	フルピカフロアブル	プロパティフロアブル	ベルクートフロアブル	ポリオキシシンAL水溶剤	モレスタン水和剤
	薬剤名																		
アフエットフロアブル																			
イオウフロアブル																			
硫黄粉剤50																			
サンヨール																			
ショウチノスケフロアブル																			
ダコニール1000																			
ハーモメイト水溶剤																			
バレード20フロアブル																			
パンチョTF顆粒水和剤																			
パンチョTFジェット																			
フルピカフロアブル																			
プロパティフロアブル																			
ベルクートフロアブル																			
ポリオキシシンAL水溶剤																			
モレスタン水和剤																			

病害虫	防除法	参考事項
菌核病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 施設内の保温、換気を図り、湿度をできるだけ下げる。 また、全面をポリマルチし、子のう盤の発生を防ぐ。 2 菌核はこぼさないよう持ち去り、深く埋める。収穫後残さは処分する。 地表面に残った菌核は10cm以上の深さに埋没する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 下記薬剤のいずれかを散布する。 <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>アミスターオブティフロアブル</p> <hr/> <p>カンタスドライフロアブル</p> <hr/> <p>スクレアフロアブル</p> <hr/> <p>セイビアーフロアブル20</p> <hr/> <p>バレード20フロアブル</p> <hr/> <p>ベルコートフロアブル</p> <hr/> <p>ベンレート水和剤</p> <hr/> <p>ロブラール水和剤</p> <hr/>	
黒点根腐病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発病ほ場ではメロンを連作しない。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 土壌くん蒸剤で土壌消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>バスアミド微粒剤/ガスタード微粒剤</p> <hr/> <p>キルバー</p> <hr/> <p>クロールピクリン</p> <hr/> <p>ドジョウビクリン/クロビク80/ドロ</p> <hr/> <p>クロール</p> <hr/> <p>クロビクテープ</p> <hr/> <p>クロールピクリン錠剤</p> <hr/> <p>ソイリーン</p> <hr/> <p>ダブルストッパー</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 2 リゾレックス水和剤を株元にかん注する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 収穫直前に萎ちょうするのが特徴。 ○ 枯死株の根に特徴的な黒点を形成する。
炭疽病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 敷わらをする。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発病ごく初期から下記薬剤のいずれかを散布する。 <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>オーソサイド水和剤80</p> <hr/> <p>キノンドー水和剤40</p> <hr/> <p>ジマンダイセン水和剤</p> <hr/>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ジマンダイセン水和剤には展着剤を加用する。 ○ ジマンダイセン水和剤とボルドー液との7日以内の近接散布は、薬害を生じるおそれがあるので避ける。

病害虫	防除法	参考事項
<p>つる枯病</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <p>1 かん水パイプはマルチ下又は地中に配置するなど株元に水や泥がかからないように工夫する。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 支柱消毒及び床土消毒をする (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。</p> <p>2 発病前から茎葉に丁寧に下記薬剤のいずれかを散布する。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>アフェットフロアブル</p> <hr/> <p>アミスター20フロアブル</p> <hr/> <p>ストロビーフロアブル</p> <hr/> <p>ジマンダイセン水和剤</p> <hr/> <p>ダコニール1000</p> <hr/> <p>パレード20フロアブル</p> <hr/> <p>ベルコートフロアブル</p> <hr/> <p>ポリオキシシリンAL水溶剤</p> <hr/> <p>ロブラール水和剤</p> <hr/> <p>3 発病部位にトップジンMペーストの原液を塗布するか、又はポリオキシシリンAL水溶剤を塗布する。</p>	<p>○ ジマンダイセン水和剤には展着剤を加用する。</p> <p>○ ストロビーフロアブルは交配～幼果期までの散布では薬害を生じることがあるので使用を避ける。</p> <p>○ ジマンダイセン水和剤とボルドー液との7日以内の近接散布は、薬害を生じるおそれがあるので避ける。</p> <p>○ ベルコートフロアブルは、交配2～3日前から交配2週間後までの幼果の時期には、薬害を生じるおそれがあるので使用を避ける。また、若葉への散布や高温時の散布では、薬害を生じることがあるので注意する。</p>
<p>つる割病</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <p>1 アールス・フェボリット(周年栽培品種)は抵抗性台木(大井、バーネット・ヒル・フェボリットなど)に接木をする。</p> <p>2 地床栽培で発生した場合、市販の抵抗性品種を用いるか抵抗性台木(パートナー、健脚、US1号、US2号、大井など)を用いる。</p> <p>3 露地メロンはかぼちやに接木する。</p> <p>4 発病株は早期に発見し、抜き取って処分する。</p> <p>5 収穫後茎葉を処分する。</p> <p>6 石灰を施して土壌酸度を矯正する。</p> <p>7 育苗は、専用ハウスで行うようにして、栽培ほ場から隔離する。</p> <p>8 農機具などは土壌をよく洗い落とし、汚染土壌を未発病ほ場に移動させない。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 支柱及び床土の消毒を行う (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。</p> <p>2 本ほは土壌くん蒸剤で土壌消毒をする (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>バスアミド微粒剤/ガスタード微粒剤</p> <hr/> <p>クロールピクリン</p> <hr/> <p>ドジョウピクリン/クロピク80/ドロクロール</p> <hr/> <p>クロルピクリン錠剤</p> <hr/> <p>ソイリールン</p> <hr/> <p>ダブルストッパー</p> <hr/> <p>ディ・トラベックス油剤</p> <hr/>	

病害虫	防除法	参考事項
べと病	<p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 発病前から天候の変化に応じて、下記薬剤のいずれかを7～10日おきに、散布する。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>アミスター20フロアブル</p> <hr/> <p>アリエッティ水和剤</p> <hr/> <p>オーソサイド水和剤80</p> <hr/> <p>ジマンダイセン水和剤</p> <hr/> <p>ストロビーフロアブル</p> <hr/> <p>ダコニール1000</p> <hr/> <p>ビシロックフロアブル</p> <hr/> <p>フェスティバルC水和剤</p> <hr/> <p>フォリオゴールド</p> <hr/> <p>ブリザード水和剤</p> <hr/> <p>ホライズンドライフロアブル</p> <hr/> <p>ライメイフロアブル</p> <hr/> <p>ランマンフロアブル</p> <hr/> <p>リドミルゴールドMZ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ジマンダイセン水和剤には展着剤を加用する。 ○ ストロビーフロアブルは交配～幼果期までの散布では薬害を生じることがあるので使用を避ける。 ○ ジマンダイセン水和剤とボルドー液との7日以内の近接散布は、薬害を生じるおそれがあるので避ける。
ホモプシス根腐病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <p>1 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。</p>	
斑点細菌病	<p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 発病初期から、下記薬剤のいずれかを7日おきに散布する。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>Zボルドー</p> <hr/> <p>キノンドー水和剤40</p> <hr/> <p>コサイド3000</p> <hr/> <p>ジマンダイセン水和剤</p> <hr/> <p>ドイツボルドーA</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ジマンダイセン水和剤には展着剤を加用する。 ○ 銅剤と他剤との混用及び近接散布に注意する。 ○ 無機銅(ボルドー)剤は幼苗期に薬害が生じやすいので中期以降に使用する。 ○ ジマンダイセン水和剤とボルドー液との7日以内の近接散布は、薬害を生じるおそれがあるので避ける。
えそ斑点病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 抵抗性品種を用いる。 2 種子は健全株から採種する。 3 栽培資材は新しいものを用いるか、蒸気で消毒する。 4 用土や堆肥は蒸気消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 5 用水は汚染のないものを用いる。ため水をかん水に用いない。 6 発病株は早めに抜き取り処分する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 本ぼは土壌くん蒸剤で土壌消毒をする(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>ソイリーン</p> <hr/> <p>ダブルストッパー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 温室メロンの抵抗性品種にはソナタやアーネストなどがある。 ○ 土壌中の糸状菌オルピディウム菌が病原ウイルスMNSVを伝搬する。土壌伝染の他、病株の汁液により伝染する。

病害虫	防除法	参考事項																					
黄化病	(耕種的・物理的防除) 1 本項の コナジラミ類の防除 に基づき防除を行う。 (薬剤防除) 1 本項の コナジラミ類の防除 に基づき防除を行う。	○ 本病はオンシツコナジラミによって媒介される																					
モザイク病 (CMV、PRSV)	(耕種的・物理的防除) 1 苗床には発芽直後から防虫ネットを使って有翅アブラムシの侵入を防止する。 2 本畑においてはシルバーポリマルチ(例：ムシコン、シルバーポルトウなど)をする。ハウス、温室においても同様にし、天井、側面腰窓などに防虫ネットをはる。 3 つる整理の際に鉢や手によって伝染し、また収穫の際に鉢によっても伝染するので、発病株は作業の最後にまわす等十分注意する。 (薬剤防除) 1 本項の アブラムシ類の防除 に基づき防除を行う。	○ CMV、PRSV及びCGMMVの3種のウイルスが病原として知られている。																					
モザイク病 (CGMMV)	(耕種的・物理的防除) 1 未消毒種子(台木、穂木とも)は、種子消毒する。 2 資材は新しいものを使用する。 3 病株は直ちに抜き去る。 4 3～4年の輪作をする。																						
アブラムシ類	(予防に関する措置) 1 うり科野菜などウイルス病が発生しやすい作物では、育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。 2 黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅成虫が飛来していないか確認する。 3 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。 4 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。 5 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。 (薬剤防除) 農業登録情報 1 生物農薬 <table border="1" data-bbox="359 1384 1120 1823"> <thead> <tr> <th>薬剤名(天敵名)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アフィパール (コレマンアブラバチ)</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>コレトップ (コレマンアブラバチ)</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>チャバラ (チャバラアブラコバチ)</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>テントップ (ナミテントウ)</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>カメノコS (ヒメカメノコテントウ)</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>ブリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)</td> <td>ワタアブラムシのみ</td> </tr> </tbody> </table> 2 気門封鎖剤 <table border="1" data-bbox="359 1877 742 2060"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコビタ液剤</td> </tr> <tr> <td>オレート液剤</td> </tr> <tr> <td>サフオイル乳剤</td> </tr> <tr> <td>サンクリスタル乳剤</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名(天敵名)	備考	アフィパール (コレマンアブラバチ)	施設のみ	コレトップ (コレマンアブラバチ)	施設のみ	チャバラ (チャバラアブラコバチ)	施設のみ	テントップ (ナミテントウ)	施設のみ	カメノコS (ヒメカメノコテントウ)	施設のみ	ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)	施設のみ	ブリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)	ワタアブラムシのみ	薬剤名	エコビタ液剤	オレート液剤	サフオイル乳剤	サンクリスタル乳剤	○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意事項 1 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、 農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」 を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 2 アブラムシ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。また、アブラムシの種類と天敵の組み合わせによっては、効果が認められない場合がある。
薬剤名(天敵名)	備考																						
アフィパール (コレマンアブラバチ)	施設のみ																						
コレトップ (コレマンアブラバチ)	施設のみ																						
チャバラ (チャバラアブラコバチ)	施設のみ																						
テントップ (ナミテントウ)	施設のみ																						
カメノコS (ヒメカメノコテントウ)	施設のみ																						
ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)	施設のみ																						
ブリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)	ワタアブラムシのみ																						
薬剤名																							
エコビタ液剤																							
オレート液剤																							
サフオイル乳剤																							
サンクリスタル乳剤																							

病害虫	防除法	参考事項
アブラムシ類	粘着くん液剤 フーモン ムシラップ	○ くん煙剤の使用については、 共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用法の項 を参照する。
	3 自然くん煙 薬剤名	
	テルスタージェット モスピランジェット	
	4 抵抗性の回避のため、異なった群から薬剤を選びローテーション散布を行う。発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。 薬剤名 備考	
	エルサン乳剤	
	スミチオン乳剤	
	ダイアジノン水和剤 3 4	
	ダイアジノン乳剤 4 0	
	オリオン水和剤 4 0	
	アーデント水和剤	
	テルスター水和剤	
	トレボン乳剤	
	マブリック水和剤 2 0	
	ロディー乳剤	
	アクタラ顆粒水溶剤	
	アドマイヤー顆粒水和剤	
	アドマイヤー水和剤	
	アドマイヤーフロアブル	
	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	
	ダントツ水溶剤	
	バリアード顆粒水和剤	
	ベストガード水溶剤	
	モスピラン顆粒水溶剤	
	ベリマーク SC	
	プリロソ粒剤オメガ	
	トランスフォームフロアブル	
	ウララDF	
	モベントフロアブル	
	コルト顆粒水和剤	
	チェス顆粒水和剤	
アクタラ粒剤 5		
アドマイヤー 1 粒剤		
スタークル/アルバリン粒剤		
ダントツ粒剤		
ベストガード粒剤		
プリロソ粒剤		

病害虫	防除法	参考事項
ウリノメイガ (ワタヘリク ロノメイガ)	<p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <p>1 BT 剤</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> ゼンターリ顆粒水和剤 チューンアップ顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤	<p>○ 産卵は下葉に行われる。</p> <p>○ 支柱等をゆすると成虫が飛び立つので発見することができる。</p>
コナジラミ類	<p>・ 共通防除の章のコナジラミ類の防除の項を参照する。</p> <p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 連作する場合には、作と作の間に施設内に植物が存在しない期間を設け、コナジラミ類がリレーされることを避ける。 2 育苗期の防除に努め、コナジラミ類が寄生していない苗を定植する。鉢物など、栽培に関係のない植物は、施設内に持ち込まない。 3 寄生範囲が広いため、ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 4 夏期には露地においても発生が多くなるため、秋期より栽培(定植)の始まる作型では、施設内への成虫の侵入防止対策を徹底する。0.4mm 目以下の防虫ネット、紫外線除去フィルム、光反射資材によるマルチ等を活用する。ただし、受粉を目的としてマルハナバチを利用する場合には、紫外線除去フィルムの使用がマルハナバチの活動に影響を与えることに留意する。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特にタバココナジラミは薬剤抵抗性が発達しやすいので、予防策を基本とした総合防除を行う。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等を行う。 3 成虫密度の低下のため、粘着シート等を設置する。施設で発生予察のために黄色粘着テープを使用する場合は、侵入防止を徹底したうえで、施設の出入口や側窓付近に張り、定期的に交換する。 4 生物農薬(下表)を活用した防除を行う。 5 本圃において化学的防除を行う際は、早期発見、早期防除に重点を置き、薬剤効果に差があるので種の区別を的確に行う。 6 薬剤散布を行うに当たっては、葉裏に寄生している幼虫、蛹にも必ず薬剤がかかるよう丁寧に十分な量を散布する。さらに、薬剤が株全体によく到達するよう下葉の処分を早期に行うなど工夫する。 7 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 8 施設栽培においては、栽培終了後に作物上に寄生したコナジラミの施設外への逃亡・拡散を防止するため、収穫後の残さはキルパーの処理(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項の「キルパーを用いた前作の古株枯死、病害虫まん延防止」を参照)や施設の密閉処理により、枯死、乾燥させた上で処分する。農業登録情報 	

病害虫	防除法	参考事項																				
コナジラミ類	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物農薬 【天敵カブリダニ、昆虫製剤】																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 320 742 342">薬剤名 (天敵名)</th> <th data-bbox="742 320 1166 342">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="359 353 742 409">エルカード (サバクツヤコバチ成虫)</td> <td data-bbox="742 353 1166 409">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 409 742 465">エンストリップ (オンシツツヤコバチ)</td> <td data-bbox="742 409 1166 465">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 465 742 521">サバクトップ (サバクツヤコバチ羽化成虫)</td> <td data-bbox="742 465 1166 521">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 521 742 577">スワルスキー (スワルスキーカブリダニ)</td> <td data-bbox="742 521 1166 577">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 577 742 633">スワルスキープラス (スワルスキーカブリダニ)</td> <td data-bbox="742 577 1166 633">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 633 742 712">ツヤトップ (オンシツツヤコバチ)</td> <td data-bbox="742 633 1166 712">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 712 742 768">ツヤトップ25 (オンシツツヤコバチ)</td> <td data-bbox="742 712 1166 768">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 768 742 824">ツヤバラリ (オンシツツヤコバチ)</td> <td data-bbox="742 768 1166 824">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 824 742 880">リモニカ (リモニカスカブリダニ)</td> <td data-bbox="742 824 1166 880">施設のみ</td> </tr> </tbody> </table>		薬剤名 (天敵名)	備考	エルカード (サバクツヤコバチ成虫)	施設のみ	エンストリップ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ	サバクトップ (サバクツヤコバチ羽化成虫)	施設のみ	スワルスキー (スワルスキーカブリダニ)	施設のみ	スワルスキープラス (スワルスキーカブリダニ)	施設のみ	ツヤトップ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ	ツヤトップ25 (オンシツツヤコバチ)	施設のみ	ツヤバラリ (オンシツツヤコバチ)	施設のみ	リモニカ (リモニカスカブリダニ)	施設のみ
	薬剤名 (天敵名)		備考																			
	エルカード (サバクツヤコバチ成虫)		施設のみ																			
	エンストリップ (オンシツツヤコバチ)		施設のみ																			
	サバクトップ (サバクツヤコバチ羽化成虫)		施設のみ																			
	スワルスキー (スワルスキーカブリダニ)		施設のみ																			
	スワルスキープラス (スワルスキーカブリダニ)		施設のみ																			
	ツヤトップ (オンシツツヤコバチ)		施設のみ																			
	ツヤトップ25 (オンシツツヤコバチ)		施設のみ																			
	ツヤバラリ (オンシツツヤコバチ)		施設のみ																			
	リモニカ (リモニカスカブリダニ)		施設のみ																			
	【天敵微生物製剤】																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 947 742 969">薬剤名 (天敵名)</th> <th data-bbox="742 947 1166 969">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="359 981 742 1037">ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)</td> <td data-bbox="742 981 1166 1037">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1037 742 1093">ブリファード水和剤 (ペキロマイセス・フモソロセウス)</td> <td data-bbox="742 1037 1166 1093">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1093 742 1149">ボタニガードES (ポーベリア・バシアーナGHA)</td> <td data-bbox="742 1093 1166 1149">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1149 742 1205">ボタニガード水和剤 (ポーベリア・バシアーナGHA)</td> <td data-bbox="742 1149 1166 1205">施設のみ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1205 742 1261">マイコタール (パーティシリウム・レカニ)</td> <td data-bbox="742 1205 1166 1261">施設のみ</td> </tr> </tbody> </table>		薬剤名 (天敵名)	備考	ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)	施設のみ	ブリファード水和剤 (ペキロマイセス・フモソロセウス)	施設のみ	ボタニガードES (ポーベリア・バシアーナGHA)	施設のみ	ボタニガード水和剤 (ポーベリア・バシアーナGHA)	施設のみ	マイコタール (パーティシリウム・レカニ)	施設のみ								
	薬剤名 (天敵名)		備考																			
	ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)		施設のみ																			
	ブリファード水和剤 (ペキロマイセス・フモソロセウス)		施設のみ																			
	ボタニガードES (ポーベリア・バシアーナGHA)		施設のみ																			
	ボタニガード水和剤 (ポーベリア・バシアーナGHA)		施設のみ																			
	マイコタール (パーティシリウム・レカニ)		施設のみ																			
	2 気門封鎖剤																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 1328 742 1350">薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="359 1361 742 1395">エコビタ液剤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1395 742 1429">オレート液剤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1429 742 1462">サフオイル乳剤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1462 742 1496">サンクリスタル乳剤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1496 742 1529">粘着くん液剤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1529 742 1563">フーモン</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1563 742 1597">ムシラップ</td> </tr> </tbody> </table>		薬剤名	エコビタ液剤	オレート液剤	サフオイル乳剤	サンクリスタル乳剤	粘着くん液剤	フーモン	ムシラップ												
	薬剤名																					
	エコビタ液剤																					
	オレート液剤																					
サフオイル乳剤																						
サンクリスタル乳剤																						
粘着くん液剤																						
フーモン																						
ムシラップ																						
3 キルパーを用いた病害虫まん延防止 (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項の「キルパーを用いた前作の古株枯死、病害虫まん延防止」 を参照) 農薬登録情報																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 1753 742 1776">薬剤名</th> <th data-bbox="742 1753 1166 1776">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="359 1787 742 1843">キルパー</td> <td data-bbox="742 1787 1166 1843">前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死で登録</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死で登録																		
薬剤名	備考																					
キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死で登録																					
4 薬剤抵抗性の発達を回避するため、異なる系統から薬剤を選びローテーション散布を行う。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 1933 742 1955">薬剤名</th> <th data-bbox="742 1933 1166 1955">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="359 1966 742 2022">アドマイヤー顆粒水和剤</td> <td data-bbox="742 1966 1166 2022">露地栽培の場合は使用時期に追加の制限がある</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 2022 742 2056">スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td> <td data-bbox="742 2022 1166 2056"></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	アドマイヤー顆粒水和剤	露地栽培の場合は使用時期に追加の制限がある	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																	
薬剤名	備考																					
アドマイヤー顆粒水和剤	露地栽培の場合は使用時期に追加の制限がある																					
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																						

○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意事項

1 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、[農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」](#)を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。

2 コナジラミ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。

病害虫	防除法	参考事項																																																		
<p>コナジラミ類</p>	<p>ダントツ水溶剤</p> <p>バリアード顆粒水和剤</p> <p>ベストガード水溶剤</p> <p>ベリマークSC</p> <p>アグリメック</p> <p>アニキ乳剤</p> <p>アフーム乳剤</p> <p>コロマイト乳剤</p> <p>ディアナSC</p> <p>アブロードエースフロアブル</p> <p>ウララDF</p> <p>コルト顆粒水和剤 受粉昆虫使用時注意</p> <p>トランスフォームフロアブル</p> <p>モバントフロアブル マルハナバチ使用時注意</p> <p>アドマイヤー1粒剤</p> <p>スタークル/アルバリン粒剤</p> <p>ダントツ粒剤</p> <p>ベストガード粒剤</p>																																																			
<p>ミナミキイロアザミウマ</p>	<p>・ 共通防除の章のアザミウマ類の防除の項を参照する。</p> <p>(物理的・耕種の防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設内への侵入を防ぐため、開口部に防虫ネットを展張する。育苗期の被覆も有効である。ほぼ完全に侵入を阻止するには、目合い0.4mm以下の防虫ネットが必要である。 ほ場周辺の雑草を除去する。 粘着テープにより成虫を誘殺する。本種は特に青色に誘引される。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 生物農薬 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:70%;">薬剤名(天敵名)</th> <th style="width:30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スワルスキー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(スワルスキーカブリダニ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スワルスキープラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(スワルスキーカブリダニ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ククメリス</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>(ククメリスカブリダニ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メリトップ</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>(ククメリスカブリダニ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リモニカ</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>(リモニカカブリダニ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オリスターA</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>(タイリクヒメハナカメムシ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トスパック</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>(タイリクヒメハナカメムシ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リクトップ</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>(タイリクヒメハナカメムシ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイリク</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>(タイリクヒメハナカメムシ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アリガタ</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>(アリガタシマアザミウマ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボタニガードES</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(ボーベリア・バシアーナ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボタニガード水和剤</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>(ボーベリア・バシアーナ)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名(天敵名)	備考	スワルスキー		(スワルスキーカブリダニ)		スワルスキープラス		(スワルスキーカブリダニ)		ククメリス	施設のみ	(ククメリスカブリダニ)		メリトップ	施設のみ	(ククメリスカブリダニ)		リモニカ	施設のみ	(リモニカカブリダニ)		オリスターA	施設のみ	(タイリクヒメハナカメムシ)		トスパック	施設のみ	(タイリクヒメハナカメムシ)		リクトップ	施設のみ	(タイリクヒメハナカメムシ)		タイリク	施設のみ	(タイリクヒメハナカメムシ)		アリガタ	施設のみ	(アリガタシマアザミウマ)		ボタニガードES		(ボーベリア・バシアーナ)		ボタニガード水和剤	施設のみ	(ボーベリア・バシアーナ)		<p>○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」を参照し、天敵に影響のない農薬を選択する。 ミカンキイロアザミウマの生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。 <p>○ くん煙剤の使用については、共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用法の項を参照する。</p>
薬剤名(天敵名)	備考																																																			
スワルスキー																																																				
(スワルスキーカブリダニ)																																																				
スワルスキープラス																																																				
(スワルスキーカブリダニ)																																																				
ククメリス	施設のみ																																																			
(ククメリスカブリダニ)																																																				
メリトップ	施設のみ																																																			
(ククメリスカブリダニ)																																																				
リモニカ	施設のみ																																																			
(リモニカカブリダニ)																																																				
オリスターA	施設のみ																																																			
(タイリクヒメハナカメムシ)																																																				
トスパック	施設のみ																																																			
(タイリクヒメハナカメムシ)																																																				
リクトップ	施設のみ																																																			
(タイリクヒメハナカメムシ)																																																				
タイリク	施設のみ																																																			
(タイリクヒメハナカメムシ)																																																				
アリガタ	施設のみ																																																			
(アリガタシマアザミウマ)																																																				
ボタニガードES																																																				
(ボーベリア・バシアーナ)																																																				
ボタニガード水和剤	施設のみ																																																			
(ボーベリア・バシアーナ)																																																				

病害虫	防除法	参考事項																																														
ミナミキイロ アザミウマ	<p>2 自然くん煙</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> モスピランジェット <hr/> <p>3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">薬剤名</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バイデートL粒剤</td> <td>揚床栽培。地床栽培。</td> </tr> <tr> <td>アクトラ粒剤5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アドマイヤー1粒剤</td> <td>アザミウマ類での登録</td> </tr> <tr> <td>スタークル/アルバリン粒剤</td> <td>アザミウマ類での登録</td> </tr> <tr> <td>ダントツ粒剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベストガード粒剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アグロスリン乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アクトラ顆粒水溶剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アドマイヤー顆粒水和剤</td> <td>アザミウマ類での登録。露地栽培の場合は使用時期に追加の制限がある。</td> </tr> <tr> <td>アドマイヤーフロアブル</td> <td>アザミウマ類での登録。露地栽培の場合は使用時期に追加の制限がある。</td> </tr> <tr> <td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td> <td>アザミウマ類での登録</td> </tr> <tr> <td>ダントツ水溶剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベストガード水溶剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベリマークSC</td> <td>かん注。アザミウマ類での登録。</td> </tr> <tr> <td>アグリメック</td> <td>アザミウマ類での登録</td> </tr> <tr> <td>アフーム乳剤</td> <td>アザミウマ類での登録</td> </tr> <tr> <td>スピノエース顆粒水和剤</td> <td>アザミウマ類での登録</td> </tr> <tr> <td>ディアナSC</td> <td>アザミウマ類での登録</td> </tr> <tr> <td>アタブロン乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カスケード乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>デミリン水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレオフロアブル</td> <td>アザミウマ類での登録</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	バイデートL粒剤	揚床栽培。地床栽培。	アクトラ粒剤5		アドマイヤー1粒剤	アザミウマ類での登録	スタークル/アルバリン粒剤	アザミウマ類での登録	ダントツ粒剤		ベストガード粒剤		アグロスリン乳剤		アクトラ顆粒水溶剤		アドマイヤー顆粒水和剤	アザミウマ類での登録。露地栽培の場合は使用時期に追加の制限がある。	アドマイヤーフロアブル	アザミウマ類での登録。露地栽培の場合は使用時期に追加の制限がある。	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	アザミウマ類での登録	ダントツ水溶剤		ベストガード水溶剤		ベリマークSC	かん注。アザミウマ類での登録。	アグリメック	アザミウマ類での登録	アフーム乳剤	アザミウマ類での登録	スピノエース顆粒水和剤	アザミウマ類での登録	ディアナSC	アザミウマ類での登録	アタブロン乳剤		カスケード乳剤		デミリン水和剤		プレオフロアブル	アザミウマ類での登録	
薬剤名	備考																																															
バイデートL粒剤	揚床栽培。地床栽培。																																															
アクトラ粒剤5																																																
アドマイヤー1粒剤	アザミウマ類での登録																																															
スタークル/アルバリン粒剤	アザミウマ類での登録																																															
ダントツ粒剤																																																
ベストガード粒剤																																																
アグロスリン乳剤																																																
アクトラ顆粒水溶剤																																																
アドマイヤー顆粒水和剤	アザミウマ類での登録。露地栽培の場合は使用時期に追加の制限がある。																																															
アドマイヤーフロアブル	アザミウマ類での登録。露地栽培の場合は使用時期に追加の制限がある。																																															
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	アザミウマ類での登録																																															
ダントツ水溶剤																																																
ベストガード水溶剤																																																
ベリマークSC	かん注。アザミウマ類での登録。																																															
アグリメック	アザミウマ類での登録																																															
アフーム乳剤	アザミウマ類での登録																																															
スピノエース顆粒水和剤	アザミウマ類での登録																																															
ディアナSC	アザミウマ類での登録																																															
アタブロン乳剤																																																
カスケード乳剤																																																
デミリン水和剤																																																
プレオフロアブル	アザミウマ類での登録																																															
ハダニ類	<p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 生物農薬</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">薬剤名(天敵名)</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スパイデックス (チリカブリダニ)</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>チリガブリ (チリカブリダニ)</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>チリトップ (チリカブリダニ)</td> <td>施設のみ</td> </tr> <tr> <td>システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 気門封鎖剤</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> アカリタッチ乳剤 エコビタ液剤 サフオイル乳剤 サンクリスタル乳剤 粘着くん液剤	薬剤名(天敵名)	備考	スパイデックス (チリカブリダニ)	施設のみ	チリガブリ (チリカブリダニ)	施設のみ	チリトップ (チリカブリダニ)	施設のみ	システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)		スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)		スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)		<p>○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意事項</p> <p>1 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。</p> <p>2 ハダニ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。</p> <p>○ くん煙剤の使用については、共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用法の項を参照する。</p>																																
薬剤名(天敵名)	備考																																															
スパイデックス (チリカブリダニ)	施設のみ																																															
チリガブリ (チリカブリダニ)	施設のみ																																															
チリトップ (チリカブリダニ)	施設のみ																																															
システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)																																																
スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)																																																
スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)																																																

病害虫	防除法	参考事項																																		
ハダニ類	<p>フーモン</p> <hr/> <p>ムシラップ</p> <hr/> <p>3 自然くん煙</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>テルスタージェット</p> <hr/> <p>マブリックジェット</p> <hr/> <p>ロディーくん煙顆粒</p> <hr/> <p>4 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。</p> <hr/> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">薬剤名</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニッソラン水和剤</td> <td>殺卵効果は高いが、成虫には劣る。</td> </tr> <tr> <td>アーデント水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>テルスター水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロディー乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サンマイトフロアブル</td> <td>メロンに使用する場合、施設内の極端な高温時や幼苗期では新葉に葉害を生じるおそれがあるので、この時期の散布は避ける。</td> </tr> <tr> <td>ダニトロンフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピラニカEW</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アグリメック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コロマイト水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コロマイト乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スターマイトフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダニサラバフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カネマイトフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダニオーテフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バロックフロアブル</td> <td>殺卵・殺幼虫効果。</td> </tr> <tr> <td>マイトコーネフロアブル</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	ニッソラン水和剤	殺卵効果は高いが、成虫には劣る。	アーデント水和剤		テルスター水和剤		ロディー乳剤		サンマイトフロアブル	メロンに使用する場合、施設内の極端な高温時や幼苗期では新葉に葉害を生じるおそれがあるので、この時期の散布は避ける。	ダニトロンフロアブル		ピラニカEW		アグリメック		コロマイト水和剤		コロマイト乳剤		スターマイトフロアブル		ダニサラバフロアブル		カネマイトフロアブル		ダニオーテフロアブル		バロックフロアブル	殺卵・殺幼虫効果。	マイトコーネフロアブル		
薬剤名	備考																																			
ニッソラン水和剤	殺卵効果は高いが、成虫には劣る。																																			
アーデント水和剤																																				
テルスター水和剤																																				
ロディー乳剤																																				
サンマイトフロアブル	メロンに使用する場合、施設内の極端な高温時や幼苗期では新葉に葉害を生じるおそれがあるので、この時期の散布は避ける。																																			
ダニトロンフロアブル																																				
ピラニカEW																																				
アグリメック																																				
コロマイト水和剤																																				
コロマイト乳剤																																				
スターマイトフロアブル																																				
ダニサラバフロアブル																																				
カネマイトフロアブル																																				
ダニオーテフロアブル																																				
バロックフロアブル	殺卵・殺幼虫効果。																																			
マイトコーネフロアブル																																				

病害虫	防除法	参考事項																																
<p>ネコブセンチュウ類</p>	<p>・ 共通防除の章の土壌線虫の防除の項を参照する。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 生物農薬</p> <hr/> <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>バストリア水和剤</p> <hr/> <p>2 下記薬剤を施用する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">薬剤名</th> <th style="width: 40%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DC油剤/D-D/テロン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バイデートL粒剤</td> <td>○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。</td> </tr> <tr> <td>ネマキック粒剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラグビーMC粒剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ネマトリンエース粒剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガードホープ液剤</td> <td>生育期に土壌処理できる。根こぶが付いている根を回復させる効果はない。使用適期は被害の初期(一般的には定植2～3ヶ月後)である。</td> </tr> <tr> <td>ネマキック液剤</td> <td>生育期に土壌処理できる。根こぶが付いている根を回復させる効果はない。使用適期は被害の初期(一般的には定植2～3ヶ月後)である。</td> </tr> <tr> <td>石灰窒素50</td> <td>石灰窒素資材</td> </tr> <tr> <td>石灰窒素55</td> <td>石灰窒素資材</td> </tr> <tr> <td>粒状石灰窒素55</td> <td>石灰窒素資材</td> </tr> <tr> <td>カルメート55</td> <td>石灰窒素資材</td> </tr> <tr> <td>カルメート60</td> <td>石灰窒素資材</td> </tr> <tr> <td>粒状石灰窒素40</td> <td>石灰窒素資材</td> </tr> <tr> <td>粒状石灰窒素</td> <td>石灰窒素資材</td> </tr> <tr> <td>石灰窒素50防散</td> <td>石灰窒素資材</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	DC油剤/D-D/テロン		バイデートL粒剤	○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。	ネマキック粒剤		ラグビーMC粒剤		ネマトリンエース粒剤		ガードホープ液剤	生育期に土壌処理できる。根こぶが付いている根を回復させる効果はない。使用適期は被害の初期(一般的には定植2～3ヶ月後)である。	ネマキック液剤	生育期に土壌処理できる。根こぶが付いている根を回復させる効果はない。使用適期は被害の初期(一般的には定植2～3ヶ月後)である。	石灰窒素50	石灰窒素資材	石灰窒素55	石灰窒素資材	粒状石灰窒素55	石灰窒素資材	カルメート55	石灰窒素資材	カルメート60	石灰窒素資材	粒状石灰窒素40	石灰窒素資材	粒状石灰窒素	石灰窒素資材	石灰窒素50防散	石灰窒素資材	<p>○ 生物農薬使用上の留意事項</p> <p>1 パスツールリア ペネトランスがほ場に定着し、効果を発揮するまで、2～3年かかる。この間、D-D剤や粒剤を用い体系的な防除に努める。</p> <p>2 くん蒸剤には、キルパー、テロン、D-D剤を使用できるが、クロルピクリンは土壌中のパスツールリア ペネトランスに影響を与えるため使用できない。</p> <p>3 防除効果は、サツマイモネコブセンチュウに限定される。</p>
薬剤名	備考																																	
DC油剤/D-D/テロン																																		
バイデートL粒剤	○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。																																	
ネマキック粒剤																																		
ラグビーMC粒剤																																		
ネマトリンエース粒剤																																		
ガードホープ液剤	生育期に土壌処理できる。根こぶが付いている根を回復させる効果はない。使用適期は被害の初期(一般的には定植2～3ヶ月後)である。																																	
ネマキック液剤	生育期に土壌処理できる。根こぶが付いている根を回復させる効果はない。使用適期は被害の初期(一般的には定植2～3ヶ月後)である。																																	
石灰窒素50	石灰窒素資材																																	
石灰窒素55	石灰窒素資材																																	
粒状石灰窒素55	石灰窒素資材																																	
カルメート55	石灰窒素資材																																	
カルメート60	石灰窒素資材																																	
粒状石灰窒素40	石灰窒素資材																																	
粒状石灰窒素	石灰窒素資材																																	
石灰窒素50防散	石灰窒素資材																																	

病害虫	防除法	参考事項																												
<p>トマトハモグリバエ</p>	<p>(物理的・耕種的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 苗を導入する場合、食害痕に注意し、寄生された苗を持ち込まない。 2 施設の開口部に寒冷紗等のネットを張り、成虫の侵入を防ぐ。 3 ほ場周辺の除草に努める。 4 摘葉や収穫残さは土中に埋めるなどの処理をする。 5 夏期の施設栽培では、収穫終了後施設を密閉し、太陽熱消毒を行い、蛹を死滅させる。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">薬剤名</th> <th style="width: 50%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクタラ顆粒水溶剤</td> <td>トマトハモグリバエで登録</td> </tr> <tr> <td>ダントツ水溶剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレバソンフロアブル5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アフーム乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コロマイト乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スピノエース顆粒水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディアナSC</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カスケード乳剤</td> <td>トマトハモグリバエで登録</td> </tr> <tr> <td>トリガード液剤</td> <td>トマトハモグリバエで登録</td> </tr> <tr> <td>プレオフロアブル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アクタラ粒剤5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタークル/アルバリン粒剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダントツ粒剤</td> <td>トマトハモグリバエで登録</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	アクタラ顆粒水溶剤	トマトハモグリバエで登録	ダントツ水溶剤		プレバソンフロアブル5		アフーム乳剤		コロマイト乳剤		スピノエース顆粒水和剤		ディアナSC		カスケード乳剤	トマトハモグリバエで登録	トリガード液剤	トマトハモグリバエで登録	プレオフロアブル		アクタラ粒剤5		スタークル/アルバリン粒剤		ダントツ粒剤	トマトハモグリバエで登録	<p>○ うり科作物で多く発生する。</p>
薬剤名	備考																													
アクタラ顆粒水溶剤	トマトハモグリバエで登録																													
ダントツ水溶剤																														
プレバソンフロアブル5																														
アフーム乳剤																														
コロマイト乳剤																														
スピノエース顆粒水和剤																														
ディアナSC																														
カスケード乳剤	トマトハモグリバエで登録																													
トリガード液剤	トマトハモグリバエで登録																													
プレオフロアブル																														
アクタラ粒剤5																														
スタークル/アルバリン粒剤																														
ダントツ粒剤	トマトハモグリバエで登録																													